（規則）様式第７（第７条関係）

政務活動費成果報告書

令和７年10月29日

犬山市議会
議長　　様

議員名　大沢秀教

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 年月日	令和7年10月22日(水)～7年10月23日(木)（1泊2日）
(2) 場所	鹿児島県①南九州市②鹿屋市
(3) 形態	(会派)・創犬会 ）：その他（　　）
(4)内容	別紙にて報告します
(5)成果・提言	別紙にて報告します

犬山市議会
受付
7.10.29
333

政 務 活 動 費　成 果 報 告 書

犬山市議会 議長

犬山市議会議員　大沢秀教

下記のとおり、政務活動の成果を報告いたします。

調査日時：令和７年 10 月 22 日（水）
訪問先　：鹿児島県南九州市　　①南九州市役所　②知覧特攻平和会館
形　態　：会派視察（創犬会）

調査項目：「平和推進事業について」

調査の内容

南九州市役所に到着し、まず市長室を訪ねた。塗木弘幸市長、今吉賢二議長、江平恒博副市長が臨席していただいた。本年７月に本市の南部公民館で開催した「戦後 80 年特別企画　知覧特攻平和会館展」へのご協力の感謝の意をお伝えし、今後も本市の平和推進事業へのご協力を要請した。その後、親しく懇談させていただくことができ、犬山市民であった初代事務局長の板津忠正氏の功績のおかげで知覧と犬山市とは特別のご縁があるとの認識をあらためて共有することができたのは、今回の訪問の成果であったと思う。

次に知覧特攻平和会館を訪問した。川崎弘一郎館長、事務局の大隣健二氏、そして７月の犬山での記念講演でお世話になった学芸員の八巻聡氏が対応して下さり、こちらでも御礼と今後のご協力のお願いをお伝えした。また、７月の特別展の会場で来場者に折っていただいた千羽鶴を平和会館に納めさせていただいた。

平和会館では、八巻学芸員に解説をいただき、館内を視察させていただいた。まだまだ館内を見学させていただくには時間が足らないのが実際のところであるが、特攻という史実に向き合い、あらためて「平和の尊さ・素晴らしさ」「家族愛」「親子の絆」を感じることができた。

市長室にて　　塗木市長　今吉議長

知覧特攻平和会館に千羽鶴を奉納

調査日時：令和７年 10 月 23 日（木）
訪問先　：鹿児島県鹿屋市　　鹿屋航空基地史料館 → 鹿屋市の戦争遺跡
形　態　：会派視察（創犬会）

調査項目：「平和推進事業について」

調査の内容

知覧特攻平和会館の八巻学芸員より、平和推進事業を推進する上で、鹿屋市の鹿屋航空基地史料館をぜひ視察するべきだとご助言をいただいていたことから、同館の視察を行った。

鹿屋市内には、戦時中に３つの飛行場があり、そこから多くの特攻隊員が出撃した歴史がある。特攻作戦により命を落とされた隊員たちの遺影や遺品、遺書などが展示されている。知覧の会館と同様に、戦争の事実を伝える展示となっており、来館者が観て、自ら感じるような展示となっている。また、同館は海上自衛隊の基地の敷地内にあるため、旧日本海軍と自衛隊と平和についても学ぶことができる史料館であった。

鹿屋市内の戦争遺跡を、時間が許す限り巡礼し、何故この地に飛行場が作られたかを学ぶとともに、慰霊の心を持って視察を行った。

串良平和公園慰霊塔

小塚公園慰霊塔

犬山市への提言

本年７月１７日～１９日に犬山市特別企画として行った知覧特攻平和会館展は市民の皆様にも好評であったことから、南九州市の市長、議長に謝意を伝え、今後の更なる交流継続をお願いできたことは収穫があったと感じた。

犬山市民であった板津忠正さんが自ら全国を回って集められた貴重な史料が、知覧特攻平和会館の骨格を作っているのだから、犬山市と南九州市および平和会館は特別なパートナーシップで事業ができるよう、今後も関係が途絶えることのないような対応を望む。

「オンラインでの小中学生の平和学習」にご協力いただけるのが理想であるが、いきなり一足飛びにそれを実現するのは難しいと感じたのが、平和会館との対話からの感触であった。だが、交流関係を継続していく中で、ねばり強く先方との信頼関係を強化していくことを望みたい。

可能であれば、犬山市の中学生を知覧に派遣する事業を企画し、実際に平和会館で学んでいただくことができれば理想的だと考える。

また、平和会館との対話と交流を続けていき、数年に一度は今年度のような広く市民向けの事業を実施することを提言する。